NIE実践報告

1．タイトル：☆視野を広げ、表現する力を育てる新聞資料の活用・新聞を活用した諸活動の報告

2．学校名

北海道室蘭市立北辰中学校

3．実践者名（代表者名）

塩原正己

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　22人

6．単元（本時の学習課題）名

開国と近代日本の歩み

7．目標(狙い)

開国以後の近代国家が形成されていく過程を、欧米諸国の動きとのかかわりの中で理解することができる。

8．評価の視点

近代日本が形成される過程に関心を持ち、欧米諸国との関係に留意しながら、意欲的に追求できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

本時は全19時間扱いの5時間目である。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

・江戸時代の「かわら版」の写真を見て、江戸時代にも人々が各種の情報に関心を持っていたことに気づく。
・開国の動きとその影響について再確認するとともに各班ごとに発表の準備を行う。
・尊王攘夷運動が倒幕の動きへと変わっていく様子を、重大な事件と関連させ、版ごとに制作した「かわら版」を使って発表する。　～　安政の大獄について、桜田門外の変について、薩英戦争について…
・攘夷の不可能さを実感した勢力が強国をめざして倒幕へと転換した動きとそれに対する幕府の対応を理解する。
・自分たちの発表と各班の発表について、評価を記入する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

この授業を通して、ほとんどの生徒が興味を持って、図書館にある文献やインターネットを使って、かなり細かく調べていた。

12．成果と課題

調べた内容を1枚の「かわら版」にまとめる作業に苦労し、予想よりも時間を費やした。特に、絵やレタリックなどで苦労しているグループが多かった。しかし、全体的には、よくまとめていたと考えている。ただ、発表については、声が小さく聞き取りにくいグループもあり、発表の仕方の指導が不足していたことは反省事項である。